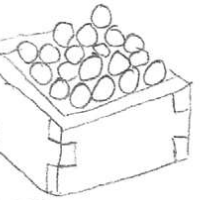




たんぽぽ組だより2月号

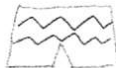
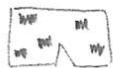



令和3年2月19日 ことり保育園 担当:石田

立春も過ぎ、日差しの日暖かさをほんのり感じよくなりました。今日この頃

先日、クラスで「節分」をしました。オニに向かって元気に「おにはそと〜ふくはうち〜」と豆を投げて、行事を楽しみました。

さて、戸外遊びの一場面のことです。砂遊びやボール遊びが好きで、「先生、バケツが欲しい」など、自分の気持ちをしっかりと伝えられる子も増えてきて、たくさん遊んだ後、

片づけを済ませた時の事でした。   

保育者が「お部屋に戻るよ」の声掛けに小走りで、子ども達が集まり、「給食食べたい」「お腹かいたね」と口々に話していました。

「みんな集まったかな」と周りを見渡すと「〇〇ちゃんがないよ」と一人の子が気づいて声をあげました。すると、キノコ型の遊具から、楽しそうな声が聞こえてきました。

保育者よりも先に「〇〇ちゃん戻るよ」と呼んでくれたり、迎えに行こうと走り出す子がいたりして、キノコの中で遊んでいた子も迎えに来てくれた子と手を繋ぎ、揃って保育室に戻ることが出来ました。子ども達が友だちを思い気持ちを大切に育てていけるようにしていきたいです。